

# ふるさと 資料紹介

= ⑤3 =

史料と地名からみた  
地区の歴史⑧

## 古井(四)

町村制の施行にともない、  
明治二年に上古井村、下古  
井村は合併して古井村になり  
ました。

明治の中ごろまで、森山地

区には十数戸の農家しかあり  
ませんでした。明治二四年  
に木製の青柳橋がかかり、飛  
騨街道筋に街並みができはじ  
めました。八百屋、旅館、馬  
車宿をはじめ肥料、衣料など  
の店が開業しました。大正の  
初めには劇場もできました。

古井駅は大正十一年十一月  
に開業しました。地元の熱意  
によつて設置が実現したもの

で、全町あげて祝賀行事が行  
われました。

今回は、次の方から貴重な  
資料を寄贈いただきました。  
ありがとうございました。

(平成七年十月分)

○考古資料 五点

(森川久さん/清水町)

○はかり、絵図など 三点

(吉田太郎さん/太田本町)

○大八車 一点

(藤木定さん/清水町)

○糸まき機など 二点

(藤吉定さん/加茂野町)

○加茂野町近世文書、戸長役  
場文書など 約一五〇点

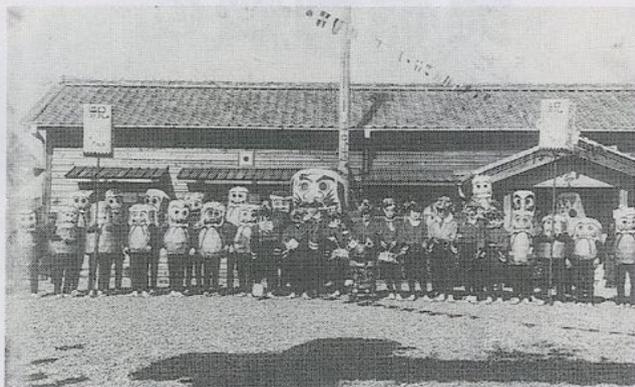
(高井照太郎さん/加茂野町)

○山道具など 約二一〇点

(細江保さん/本郷町)

文化課(☎内四〇八)まで

情報をお寄せください。



▲古井駅開業祝賀風景